

令和2年度のがん検診の実施状況について

令和2年度を受診率（70歳未満）は、41.9%

福井県では、平成30年3月に「第3次福井県がん対策推進計画」を策定し、がん予防・早期発見・治療日本一を目指して、令和5年度までに各がん検診の受診率50%を目標にしています。

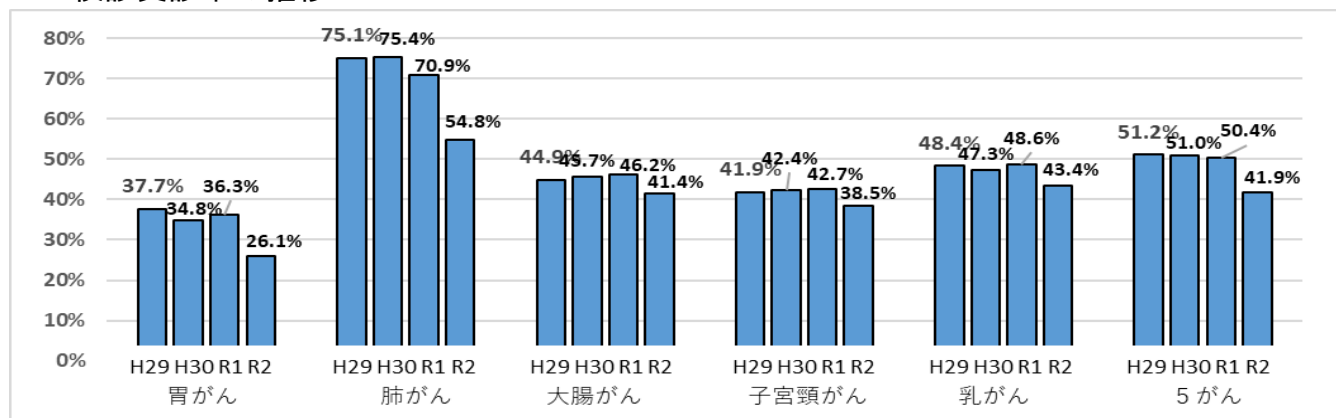
令和2年度のがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）の受診率（70歳未満）は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により41.9%となりました。

がん種別の受診率は、胃がん26.1%、肺がん54.8%、大腸がん41.4%、子宮頸がん38.5%、乳がん43.4%となっており、もっとも減少率が高かった肺がんは前年度比16.1ポイント減少しました。

◆令和2年度がん検診受診者数と受診率

がん種	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	5がん
受診者数	56,007	173,864	131,395	91,234	69,376	521,876
受診率	26.1%	54.8%	41.4%	38.5%	43.4%	41.9%

◆がん検診受診率の推移



※この受診率は、県内の市町と職域を合わせた全数調査により、福井県が独自に算定。

※子宮頸がん、乳がんは市町・職域検診とも隔年受診が原則であるため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

※平成29年度より、胃がんの市町検診は、隔年受診が原則となったため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定した。

今後は、各がん検診の受診率50%達成に向けて

- ① 全市町住民が受診可能な広域集団検診の実施
- ② 職域検診や個別検診の推進による受診機会の拡大
- ③ 県内検診機関および受診勧奨センターによる未受診者への再勧奨の強化
- ④ 地元メディアやSNS等を活用した受診啓発活動

(参考)

○福井県の独自調査による受診率の算定について

県では、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」による対策型がん検診の基準に合わせた対象年齢等により受診率を算定しています。

種類	対象年齢	受診間隔	県内対象者
肺がん	40～69歳	毎年	317,438人
大腸がん	40～69歳	毎年	317,438人
胃がん	50～69歳	2年に1回	214,349人
子宮頸がん	20～69歳	2年に1回	236,680人
乳がん	40～69歳	2年に1回	159,790人

対象者：平成27年国勢調査より算出